

11月の野菜 エンドウ



営農課 ● 岩本 悠太

特徴

寒さに強いマメ類のなかでも、もつとも耐寒性が強く、幼苗の内であれば氷点下の気温にも耐えます。栽培地としては風当たりの強くない、一日中よく日が当たる場所、例えば家や堀などの南側が最適です。

栽培のポイント

- ① 小さい内から株の近くに竹棒や木の小枝などで支柱を立て、風に振り回されず、つるが絡まりやすくなるように工夫しましょう。
- ② 肥料はチッ素が少ない肥料を

選びましょう。チッ素が多いと「つるぼけ」を起こし収穫量が減ってしまう原因になります。

③ 収穫のタイミングは種類によつて異なります。収穫が遅れると硬くなり食味が落ちてしまうため、こまめに収穫し

10ヶ月

まししょう。まししょう。

連作障害の出やすい野菜として代表的。一度、栽培した畑では少なくとも4〜5年は栽培しないようにしましょう。

2 苗づくり

96〜128穴のセルトレイに1穴2粒まき



発芽後2週間くらいで本葉2〜3枚苗に仕上げ

1 畑の準備


種まきの少なくとも半月前くらいに畑の準備を行う



<1㎡あたり> 石灰 大さじ2〜3杯
堆肥 5〜6握り
酸性に弱いので石灰を散布してから耕す

4 支柱立て(1)

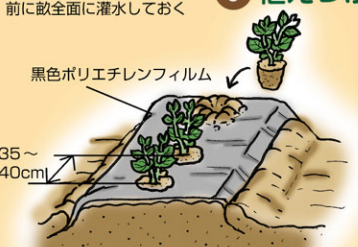
直立状態では、風に振り回されてしまい折れやすいので、竹で押さえておく



十字に挿す

3 植えつけ

畑が乾いていたらマルチする前に畝全面に灌水しておく



黒色ポリエチレンフィルム
35〜40cm

第2回追肥

盛んに開花するようになったころ、畝の反対側に前回と同じく追肥する



支柱

5 追肥

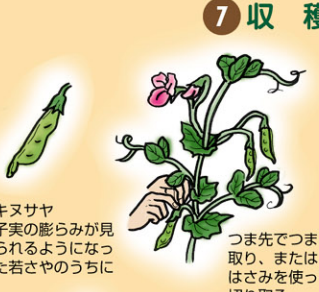
第1回 春先に勢いよく根が伸び出したころ、マルチフィルムをめくって、畝の片側に肥料をまき、土と混ぜ合わせながら畝を形づくる



<1株あたり> 化成肥料 大さじ1杯

7 収穫

つま先でつまみ取り、または、はさみを使って切り取る



キヌサヤ 子実の膨らみが見られるようになった若さのうちに

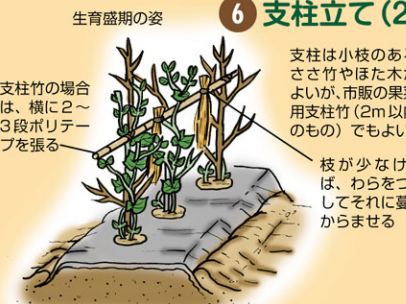
6 支柱立て(2)

生育盛期の姿

支柱は小枝のあるさざ竹やほた木がよいが、市販の果菜用支柱竹(2m以内のもの)でもよい

枝が少なければ、わらをつるしてそれに蔓をからませる

支柱竹の場合は、横に2〜3段ポリテプを張る



大さや実どり さやにしわが始め、子実の太りがめだってきたころ

スナック 子実が太ってきたころ、さやがみずみずしいうちに



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種まき										●	●	
植えつけ											●	●
収穫期					●	●						